

世界に誇れる
鍛造設備保全の
マイスターを
めざします

鍛造設備保全マイスター 育成塾

— 柱Ⅲ —

受講生募集案内

五本柱

柱Ⅰ：設備保全の基本全般

柱Ⅱ：鍛造設備保全

柱Ⅲ：センシング技術及びIoT、AIの適用

柱Ⅳ：異常検知、異常診断の勘どころ

柱Ⅴ：具体的活動計画

目的

鍛造設備の保全に有効なセンシング技術やAI・IoTの活用事例を学び、保全のDXを推進出来る保全員を育成する

1. センシング技術、AI・IoTの活用事例等を学び、鍛造設備・生産ラインの保全業務に活用できる人材を育成する。
2. 実習・見学を取り入れ、センサーやモニタリングシステムの活用方法・DXの取組みを実感する。
3. 受講者間、また講師の方々との人的交流を行う。

鍛造設備保全のDXの取組みに向けて、「センシング技術、AI・IoT、DX」に関する最新の技術情報や活用事例を学び、実習・見学・グループワーク等も取り入れ、設備保全の課題解決に向けたデジタルツールを活用した企画を立案する等、実践的で全員参加型の講習会です。

柱Ⅲ



修了要件

受講後、講習にて習得した内容を活かしたIoT化・DX推進に向けた提案書を提出し、鍛造設備および生産ラインの保全につながる計画であると評価された場合に修了とする。

募集要項

受講資格（対象）

- 鍛造設備の保全経験者
- もしくは、鍛造設備保全業務を目的としたDX推進、鍛造生産ラインの革新に向けたDX推進の業務を担っている方

（申し込み用紙に受講者の業務経歴を記載ください）

定員・申込方法

定 員 : 20名（最少催行人員10名）

※ 多くの企業の皆様に受講いただくため、1社1名に限定させていただきます。

申込方法 : 申込書に必要事項をご記入後、
FAXもしくはメールにてお送りください。

締め切り : 令和7年4月11日（金）

※ 定員に達し次第締め切ります。

受講料

会 員 : 183,700円（税込）／1名

非会員 : 367,400円（税込）／1名

※第1回から第3回（1泊2日×2回と1日）の費用です。

（第1回第2回計4日分の昼食代を含む）

※宿泊費用、会場までの交通費は、含まれません。

※受講を途中で止められましても、返金はいたしかねますのでご了承ください。

助成金

本セミナーは、下記助成金（制度が拡充されました）の対象となる場合があります。
詳細は、下記ホームページをご参照ください。

雇用調整助成金 :

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/pageL07.html

人材開発支援助成金 :

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/d01-1.html

基本講座

【第1回】

センシングについての講演を聴講し
実技も織り込みながらセンシングの概念を学びます。

【会場】 第1回 株式会社ヤマナカゴーキン
(千葉県佐倉市大作 2-11-2)

開催日：5月22日（木）
5月23日（金）

＜会場アクセス＞

電車でお越しの方：J R総武線 佐倉駅北口から
タクシーで約20分

1日目	内容	2日目	内容
10:00 ～10:10	オリエンテーション	9:00 ～10:30	【実技①】 センサーを用いた工程状態の可視化 金 秀英（株ヤマナカゴーキン） ・ 汎用PLCやデータロガーを想定したセンサー信号可視化の方法を理解 ・ モニタリングシステムによる異常検知および工程コントロールの仕組みを理解 【工場見学】金型製造工場・プレス工場見学
10:10 ～12:10	【技術動向①】 鍛造生産ラインのスマート化の現状 藤川 真一郎（日産自動車株） ・ 鍛造生産ラインのDX化に関して、事例と今後の展望について紹介 ・ 熱間鍛造ラインのDX事例紹介	10:40 ～12:10	【実技②】 鍛造工程のモニタリング 金 秀英（株ヤマナカゴーキン） ・ 量産ラインに適用できる実用的なスマートダイセットの紹介・デモ ・ フリーディスカッションによる量産ラインのDX化を進めるための実用的なアイデアの導出
13:20 ～15:00	【技術紹介】 工程・設備の可視化に向けたセンシング技術 金 秀英（株ヤマナカゴーキン） ・ 工程や設備の状態を可視化する手段としてセンシング技術の活用例を中心に解説	13:20 ～15:20	【技術動向③】 鍛造 設備の DX 化事例の紹介 三吉 宏治（株式会社コマツ） ・ 鍛造設備における可視化およびDX化の事例を紹介する内容 ・ 量産現場の実用的な可視化・DX化の現状と課題について紹介
15:20 ～17:20	【技術動向②】 DXに向けた鍛造設備の現状と展望 楊 明（東京都立大学） ・ プレス設備のDXに向けた最新の取り組みおよび今後の展望について紹介	15:30 ～16:30	【技術紹介】 計測データの分析および工程モニタリング方法 金 秀英（株ヤマナカゴーキン） ・ 計測データの分析による異常判定の事例紹介
17:30 ～18:00	質疑応答 & アンケート記入	16:30 ～17:00	質疑応答、終了

※ 上記カリキュラムは、都合により一部変更になること可能性があります。

基本講座

【第2回】

第2回目は熱間鍛造ラインで設備保全IoTを
実践している事例見学と各センサーの使い方
実習を行います。

【会場】 第2回 株式会社メタルアート
(滋賀県草津市野路 3-2-18)

開催日：6月9日（月）
6月10日（火）

<会場アクセス>

電車でお越しの方：南草津駅下車
徒歩約10分

1日目	内容	2日目	内容
10:00 ～10:30	オリエンテーション	9:00 ～12:00	【実習】 各種センサーについての概要説明 及び 「センサー取付→PLC→ロギング→ データ見える化」の実習
10:30 ～12:00	【鍛造工場へのIoT・DX活用事例講演】 時田 晋吾（トヨタ自動車） 「設備保全へのデジタル活用事例」	13:00 ～14:30	【グループディスカッション②】 自社課題に対し取り組み検討 ・各自が自社でどのように 活用するかをグループで議論
13:00 ～15:30	【工場見学】 IoT適用設備見学と質疑応答 (株)メタルアート本社工場 ・2500トンプレスの現地見学	14:40 ～15:30	グループ発表 ・議論した事の参加者全員への共有
15:40 ～16:30	【グループディスカッション①】 自社課題と気づき（工場見学後） ・見学後の各自意見まとめ	15:30 ～16:00	質疑応答、終了

※ 上記カリキュラムは、都合により一部変更になること可能性があります。

情報共有会のご案内

同業他社間における保全員同士の「ネットワーク（人脈）」づくりを
目的とした、飲食を伴う情報共有会を開催いたします。（参加任意）

※ 各回1日目の講習後に実施予定（第1回・第2回のみ実施）

※ 参加費別途（5,000円前後／1名）



事例研究

活動計画 発表会

基本講座からまとめた各自の「IoT化・DX推進に向けた提案書」の内容を共有し、実践に向けた検討を行います。

開催日：8月21日（木）WEB開催予定

内容

13:00 ~ 17:00

改善提案書発表

受講生発表各15分+質疑応答5分

※受講生の参加人数によって開催時間は前後いたします。



※ スケジュール確定次第、改めてご連絡いたします。



参加受講生の声



受講生A：IoT、DXに向けた取り組みを実際に進めている企業の具体的な内容の話が聞けて大変勉強になった。

受講生B：実際にどのようにしてIoTに取り組んでいるのか見ることが出来て良かった。



【受講申込書】令和7年度 鍛造設備保全マイスター育成塾

柱Ⅲ「センシング技術及びIoT、AIの適用」

<受講者情報>

申込日：令和7年 月 日

1	カガナ	所属部・課 / 役職
	氏名：	
	性別：男性・女性	e-mail： @
	業務経歴：	生年月日： 年 月 日
2	カガナ	所属部・課 / 役職
	氏名：	
	性別：男性・女性	e-mail： @
	業務経歴：	生年月日： 年 月 日

※ 生年月日 … 各回で実習がある関係上、保険加入のためにご記載をお願いしております。

<申込者情報> ※ テキスト送付先

申込締切：令和7年4月11日（金）

会社名		
	(所属部・課 / 役職)	
所在地	〒	
氏名		
連絡先	TEL：	
	FAX：	
	e-mail： @	
	※受講料の請求書は申込者様のe-mail宛に送りいたします。	
		受領印欄